

学校・家庭・地域をつなぐ学校だより

コミュニティ・スクール

若き者の...

特集号

平成30年1月18日

◇篠山市立今田中学校 ◇今田町今田新田11 ◇生徒数69名
◇tel. 597-3160 ◇fax. 597-2376 (男子37名、女子32名)

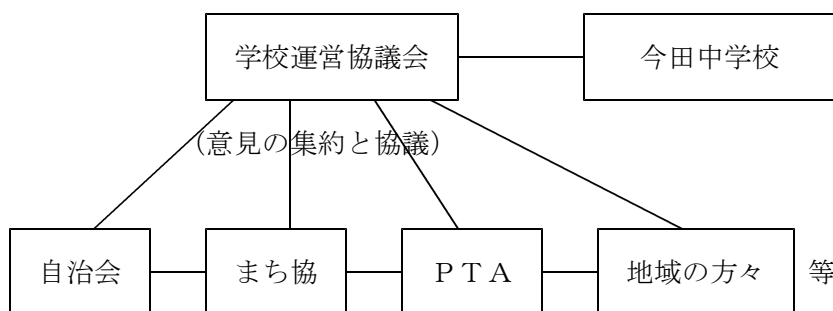
コミュニティ・スクールだより

コミュニティスクールとは

篠山市が目指す「地域とともにある学校づくり」を推進するため、平成29年度から市内全ての小中学校に「コミュニティスクール」が導入されました。コミュニティスクールとは「学校運営協議会」が中心となって、学校・市民・保護者・地域がともに協働しながら社会に開かれた教育を目指して、子ども達の豊かな成長を支える仕組み作りを進める学校のことです。

学校運営協議会とは

学校運営協議会の委員は自治会、PTA、まちづくり協議会、地域活動団体、学識経験者などの方々を学校長が推薦し、篠山市教育委員会が任命します。その組織は次のようなイメージです。



学校運営協議会の主な活動は次の3つです。

- 校長が作成する学校運営の基本方針を承認する。
- 学校の活動に協力するとともに、学校運営について意見を述べるができる。
- 学校関係者評価を行い、今田中学校の課題解決に向けた協議・調整を行う。

本年度の活動

本年度は7名の委員さんにお世話になっています。そこに校長・教頭・主幹教諭の3名が入り、運営協議会は10名のメンバーで活動してきました。主な活動は次の通りです。

- 5月…第1回学校運営協議会（学校経営方針承認・活動内容検討）応援事業パンフレット作成・配布
- 7月…第2回学校運営協議会（トライやる・ウィーク発表会参観、創立70周年記念空撮検討）
- 9月…今田中学校体育大会協力、創立70周年記念人文字空撮実施、記念クリアファイル作成
- 11月…第3回学校運営協議会（オープンスクール参観、学校自己評価検討）
- 1月…コミュニティスクールだより発行
- 2月…第4回学校運営協議会（本年度の活動のまとめ、学校関係者評価実施、次年度の活動検討）

上記の活動以外にも、委員さんが所属されている各団体の立場で今田中学校の様々な活動を支援してくださいました。心強いご声援をいただきましたことに心からお礼申し上げます。

29年度の活動を振り返って（委員さんの声）

本年度の運営協議会委員さんにご寄稿いただきました。お世話になりありがとうございました。

本年度、今田中学校運営協議会の委員をさせていただいた関係で、10年ぶりに体育大会に参加させていただきました。

今田中学校はもともと小規模校でしたが、この10年で生徒数はさらに減少し、体育大会の盛り上がりを少し心配しておりました。しかし、そんな心配は必要ありませんでした。子ども達のきびきびした態度や一生懸命頑張っている姿、素晴らしい笑顔の数々に、心から楽しませていただきました。今田中学生の笑顔や元気さは変わることなく、先生方が生徒たちといろいろな工夫したり考えたりしながら進められている姿には感心させられました。体育大会に久しぶりに参加させていただき、子ども達の頑張っている姿は、地域にとって本当に大切に、力になるものだと思えて実感しました。

校長先生、教頭先生をはじめ、諸先生方、今後ともご指導のほどよろしく願いいたします。

10月28日にさぎそうホールで行われた文化祭では、それぞれの学年がストーリーを考え、準備を進め、そして練習を積み、チームワークを発揮して、見事な発表をしてくれました。全校生69名一人一人に拍手を贈りたいと思います。

印象深いのは各クラスごとの演劇でした。人として生きる力を培う様や命の尊さと平和の大切さを訴えた熱演には目頭が熱くなりました。また弁論では、日頃から考え取り組んでいることを聴衆に働きかけるなど、その確かな成長を感じ取ることができました。そして、少人数でも頑張る吹奏楽部の演奏は文化祭を盛り上げ、さわやかさを届けてくれました。

今後も今田中学校の生徒たちが、先生方の指導や助言を自身のものとし、さらに自覚を持ちながら前向きに学校生活を送れるよう応援しています。

今田サマーフェスティバルで、今田中学校の生徒たちと一緒にボランティアとして関わることがありました。炎天下の中、黙々と作業する子ども達がとても頼もしく思えました。

「これ、お願いします」と頼むと「はい！わかりました」笑顔でハキハキと答える姿に「私も頑張らなきゃ！」と思えました。ボランティア活動にたくさん子ども達が参加することが素晴らしい！

自然豊かな今田町という小さなコミュニティの中で、学校の勉強だけではなく、地域の人と関わりながら、いろいろな経験をする。とても大切なことです。素直に、素朴に、このまま成長していったら、社会に出ても安心ですね。期待してるよ！今田っ子！

普段、参観日等でご家族の方は生徒たちの授業風景を見ることができませんが、地域の方々も「オープンスクール」という形で、生徒たちが授業に取り組む様子を参観できるようになりました。

私が中学生の頃にはなかったシステムです。とてもいいことだと思います。「近所の〇〇さんは普段どんな勉強をしているのだろうか？」私もオープンスクールを利用して母校を訪問しました。昔からほとんど変わらない校門からの風景、車を駐めて玄関で上履きに履き替えようとしたとき、数名の生徒が目に入りました。するとすぐに「こんにちは！」と大きな声で挨拶が聞こえてきました。とても清々しく感じました。校内に入っても、生徒たちと出会う度に気持ちのよい挨拶をいただきました。挨拶は人と人をつなぐ大切な第一歩。これからも継続してください。

少子高齢化が進み、今田地区にもそれが顕著に表れ、今田中学生も在籍数が少なくなっています。今後は地域の各種団体が連携し、老若男女を問わず手を携えて地域を支えながら、今田地区の若者たちが都会に出てもまた帰りたい、住みたいと思える町にしていきたいと思えます。

※次号「若き者の…」は3月に発行予定です。